

この度は **TRUSCO** フレームホルダーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

## A. 製品内容

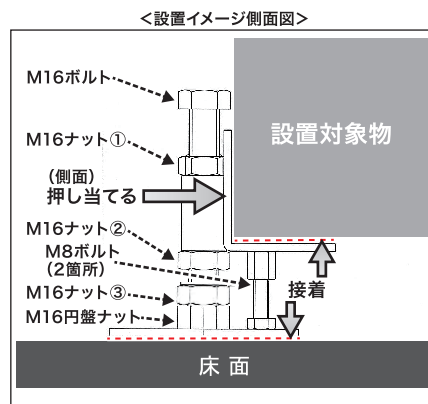
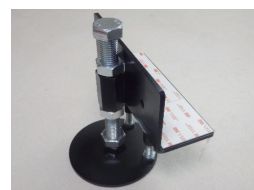
〈パッケージ内容〉  
本体(M1~2,H1~4タイプのいずれか) ×1, プライマー-B ×2, 取扱説明書(本紙)

〈ユーザー様にご用意いただくもの〉  
アルコール, ウェス等, スパナ 24mm(M16用) ×2, スパナ 13mm(M8ボルト用), M8ボルト(長さ30mm程度/L板取外し用), ラチェットレンチ 24mm(M16用), スクレーパー(円盤取り外し後処理に使用)

## B. 製品の説明

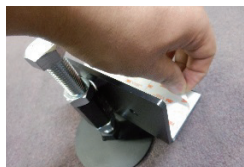
〈対象物、用途〉  
本製品はレベルアジャスターによる固定が困難な工場設備・装置の耐震具(転倒・移動防止用品)です。対象物の底面にL金具上面を、床に円盤をそれぞれ接着固定して使用します。

**対象物重量: 500kgまで/個**



## C. 取付方法

C-1  
設置する対象物底面と床との隙間高さを測定し、それより若干低くなるようにM16ナット①②、M8ボルトでL板の高さを調整します。  
注: M16ボルトが一緒に回ってしまわないように注意してください。



C-2  
おおよその設置位置を決め、L板を貼付予定の対象物底面と、接着パッド付き円盤(以下 円盤) 貼付箇所周辺の床を、アルコールで清掃してよく乾かします。

C-3  
1: L板上面の接着パッドの剥離シートを剥がします。  
2: 円盤底面の接着パッドの剥離シートを剥がします。  
3,4: プライマー-B 1本をそれぞれの面に均一に塗布します。(L板、円盤共に1本使い切ってください。)

## C. 取付方法(つづき)

C-4 円盤底面が床に接触しないように注意し、L板側面を設置対象物側面に押し当てた状態で円盤を床に下ろし接着します。  
C-5 M16ナット①②を手で回し、L板を上げ対象物底面に接着します。 注: 接着後30分は動かさないでください。  
C-6 L板下側のM8ボルト2ヶ所を手で右回しして緩め、円盤に押し当てます。 注: 接着後30分は動かさないでください。  
C-7 接着後30分経過したらM16ボルトをスパナで押さえながらM16ナット①②を左回しして締めこみます。  
M8ボルトをスパナで右回しして締めこみます。



C-4



C-5



C-6



C-7

## D. 取外し方法

### 〈円盤の外し方〉

D-1  
M16ボルトを回し、上側に抜き取ります。



D-1-1



D-1-2

D-2  
ラチェットレンチを円盤のナットに掛け、ゆっくり回転させて床から円盤を剥がします。  
取り外したM16ボルトをゆっくり円盤のナットに締め込んでいき円盤を床から若干浮かせると剥がし易くなります。但し、床を傷める可能性がありますのでご了承ください。



D-2-1



D-2-2

D-3  
床に残った接着パッドはスクレーパーを使い、削ぎとって剥がします。この際、スクレーパーと接着パッドにアルコールをかけ、湿らせた状態にすると作業しやすくなります。



D-3-1



D-3-2

### 〈L板の外し方〉

D-4  
L板のタップ穴にM8ボルト(L板取外し用/ユーザー様ご準備)を締め込み、対象物からL板を剥がします。  
注: この際、対象物の傷を防止する為に付けてあるバッティングプレートも本体から剥がれます。



D-4-1



D-4-2

## △使用上のご注意

- ・本製品は地震による転倒・移動を防止するものですが、災害や事故等による被害を補償するものではありません。
- ・取り付けに関し、本紙をよくご覧になり、確実に行ってください。
- ・本製品に衝撃を与えないでください。思わぬ事故や破損等の原因になります。なお転倒・移動防止目的以外でのご使用はご遠慮ください。
- ・接着後72時間は動かさないでください。・地震の強度や床の材質、施工方法によって、本製品の効果が薄れることがあります。
- ・強い地震が起こった後は、異常がないか必ず確認してください。・位置変更などで取り外す際、取り付け面が傷つく場合があります。